

VI 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化を図っている。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移 (単位：人)

年		平成 17年	平成 22年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和元年
区分	管内人口	622,736	639,804	645,578	652,364	651,825	662,202	665,935
	新登録患者数	135	109	100	84	74	65	78
	年末時登録者数	432	264	229	215	193	166	185
結核死亡者数	管内	3	11	5	5	3	3	6
	千葉県	88	71	68	71	75	82	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.5	1.7	0.8	1.4	0.5	0.5	0.9
	千葉県	1.7	1.4	1.3	1.3	1.4	1.6	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内	21.7	17.0	15.5	12.9	11.4	9.8	11.4
	千葉県	22.5	17.0	13.7	14.2	11.9	12.0	12.0
有病率 (人口10万対)	管内	19.6	11.3	9.6	7.5	7.5	7.9	7.8
	千葉県	17.2	11.9	9.0	9.1	7.3	7.7	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 / 人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 / 人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	(罹 人 口 10 患 万 対) 率	占 塗 肺 め る 抹 結 割 合 陽 核 (%) 性 う の ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 体 者	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体
			活 動 性 肺 結 核										
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 の 他 菌 陽 性	そ の 他 菌 の 陰 性							
平成29年		74	62	26	26	10	12	11.4	41.9	33	-	1	-
平成30年		65	52	24	22	6	13	9.8	46.2	31	-	-	-
令和元年		78	57	28	24	5	21	11.7	49.1	35	-	-	-
市川市		59	41	20	17	4	18	11.9	48.8	32	-	-	-
浦安市		19	16	8	7	1	3	11.2	50.0	3	-	-	-

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	(有 人 口 10 病 万 対) 率	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別 掲)	
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	登 録 時 結 核 の 他 菌 の 陰 性	登 録 時 そ の 他 菌 の 陰 性	登 録 時 そ の 他 菌 の 陰 性					治 療 中	観 察 中
平成29年		193	42	42	17	19	6	7	115	29	7.5	16	10
平成30年		166	52	40	19	15	6	12	78	36	7.9	21	20
令和元年		185	52	43	20	20	3	9	99	34	7.8	22	41
市川市		155	40	31	15	13	3	9	87	28	8.1	21	36
浦安市		30	12	12	5	7	-	-	12	6	7.0	1	5

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成29年		74	-	1	12	8	10	8	9	16	9	1
平成30年		65	-	-	7	7	8	12	5	11	13	2
令和元年		78	-	2	10	7	8	10	9	10	19	3
市川市		59	-	1	8	7	7	5	6	7	15	3
浦安市		19	-	1	2	-	1	5	3	3	4	0

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成29年		193	-	1	30	25	33	26	31	31	13	3
平成30年		166	-	-	21	23	22	30	18	28	19	5
令和元年		185	-	2	28	20	18	37	17	26	31	6
市川市		155	-	1	23	18	16	31	13	24	25	4
浦安市		30	-	1	5	2	2	6	4	2	6	2

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その	訪問面接	所内面接	電話・その
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その						
初回	期間内	退院前													
平成29年	保健師	3	63	23	36	4	62	57	246	75	75	250	52	51	126
	DOTS支援員	1	-	-	-	-	-	-	10	-	1	6	-	-	-
平成30年	保健師	3	76	31	34	11	68	100	909	39	116	890	52	65	582
	DOTS支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年	保健師	3	71	22	47	2	25	52	71	10	48	544	-	60	303
	DOTS支援員	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	33
令和元年	患者数(人)		22						38			30			

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況 (単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核患者(再掲)	肺結核喀痰塗抹陽性患者(再掲)	
平成29年	実施者数	82	70	31	41	
	患者数※	82	70	31	41	
平成30年	実施者数	60	51	18	30	
	患者数※	62	53	18	31	
令和元年	実施者数	59	38	21	29	
	患者数※	60	38	22	30	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成29年	70	67	95.7	104	52	1	47	2	2	60	2	5	-	-
平成30年	49	45	91.8	68	33	1	34	-	-	33	7	3	2	4.4
令和元年	88	78	88.6	137	60	-	77	-	-	72	1	5	0	-
保健所	/			89	39	-	50	-	-	/				
委託分				40	21	-	19	-	-					
その他				8	-	-	8	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成29年	832	803	96.5	974	756	8	210	-	-	771	5	26	1	0.1
平成30年	593	575	97.0	688	546	7	135	-	-	536	12	27	-	0.0
令和元年	835	809	96.9	1191	744	44	401	1	1	778	8	21	2	0.2
保健所	/			818	589	0	229	-	-	/				
委託分				296	130	44	122	-	-					
その他				77	25	0	50	1	1					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成29年	212	200	94.3	397	343	35	19	51	149	-	-
平成30年	187	168	89.8	356	287	37	32	62	106	-	-
令和元年	144	128	88.9	234	178	28	28	15	112	1	-
保健所	/			18	18	0	0	/			
委託分				94	56	19	19				
その他				122	104	9	9				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成29年	158	155	3	62	60	2	6	6	-	46	46	-	31	30	1	12	12	-	1	1	-
平成30年	157	152	5	51	51	-	8	8	-	45	43	2	33	32	1	18	16	2	2	2	-
令和元年	154	154	-	71	71	-	4	4	-	36	36	-	36	36	-	6	6	-	1	1	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
		本人	家族		保険											
平成29年	30	5	-		8			10			7			-		
平成30年	26	8	1		7			6			4			-		
令和元年	28	8	-		5			14			-			1		

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成29年	32
平成30年	26
令和元年	28

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
平成29年	32	32	62
平成30年	26	26	42
令和元年	28	28	67

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成29年	-
平成30年	-
令和元年	-

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成29年	-	9	-	9	-	9	-	-
平成30年	-	8	1	7	-	8	-	-
令和元年	-	45	30	15	-	45	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成29年	232	573	742	24	38	1
平成30年	513	161	618	14	42	-
令和元年	621	166	750	5	31	1

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成29年	186	116	137	55	49	61
平成30年	123	94	89	32	34	62
令和元年	302	208	279	141	23	67

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1- (14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)	
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)							
平成 29 年	158,308	83,738	52.9	4,824	78,904	17	-	4	0.005	
平成 30 年	163,379	86,530	53.0	2,955	81,704	9	1	2	0.002	
令和 元年	157,812	81,282	51.5	2,634	78,643	4	-	-	-	
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		9,803	9,736	99.3	1,197	8,539	-	-	-
	施 設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)	1,347	1,331	98.8	483	848	1	-	-
		その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者		13,632	12,774	93.7	954	11,815	4	-	-
	市町村長		133,030	57,441	43.2	-	57,441	-	3	0.005

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1- (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
令和元年 9月12日	-	メール FAX	結核予防週間	いちうら感染症 情報登録機関	298
令和元年 9月19日	市川保健所	講演会	高齢者福祉施設における結核対 策について	高齢者福祉入所 施設	70

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) 単位:人

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年・市町村	病類 総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成29年	21	—	—	21	—	—
平成30年	16	—	2	14	—	—
令和元年	14	—	—	14	—	—
市川市	7	—	—	7	—	—
浦安市	7	—	—	7	—	—
その他 (管外)	—	—	—	—	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	E型肝炎	1	4	5
2	ウエストナイル熱	—	—	—
3	A型肝炎	6	9	3
4	エキノコックス症	—	—	—
5	黄熱	—	—	—
6	オウム病	—	—	—
7	オムスク出血熱	—	—	—
8	回帰熱	—	—	—
9	キャサヌル森林病	—	—	—
10	Q熱	—	—	—
11	狂犬病	—	—	—
12	コクシジオイデス症	—	—	—
13	サル痘	—	—	—
14	ジカウイルス感染症	1	—	—
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	—	—	—
16	腎症候性出血熱	—	—	—
17	西部ウマ脳炎	—	—	—
18	ダニ媒介脳炎	—	—	—
19	炭疽	—	—	—
20	チングニア熱	—	—	1
21	つつが虫病	—	—	1
22	デング熱	3	1	4
23	東部ウマ脳炎	—	—	—
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	—	—	—
25	ニパウイルス感染症	—	—	—
26	日本紅斑熱	—	—	1
27	日本脳炎	—	—	—
28	ハンタウイルス肺症候群	—	—	—
29	Bウイルス病	—	—	—
30	鼻疽	—	—	—
31	ブルセラ症	—	—	—
32	ベネズエラウマ脳炎	—	—	—
33	ヘンドラウイルス感染症	—	—	—
34	発しんチフス	—	—	—
35	ボツリヌス症	—	—	—
36	マラリア	1	1	—
37	野兎病	—	—	—
38	ライム病	—	—	—
39	リッサウイルス感染症	—	—	—
40	リフトバレー熱	—	—	—
41	類鼻疽	—	—	—
42	レジオネラ症	8	3	9
43	レプトスピラ症	—	—	1
44	ロッキー山紅斑熱	—	—	—

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

表2-(5)-ア 5類感染症発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	アメーバ赤痢	4	7	9
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	5	7	2
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	6
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	—	—	—
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	9	6	7
6	クリプトスポリジウム症	—	—	—
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	—	1	—
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	3	4
9	後天性免疫不全症候群	18	14	11
10	ジアルジア症	—	—	—
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	3	5
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	—	—
13	侵襲性肺炎球菌感染症	21	18	10
14	水痘(入院例に限る。)	1	8	4
15	先天性風しん症候群	—	—	—
16	梅毒	15	23	14
17	播種性クリプトコックス症	1	—	—
18	破傷風	1	—	—
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2	1
21	百日咳	—	51	32
22	風しん	1	40	29
23	麻しん	—	—	4
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	—	—

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位:箇所)

インフルエンザ	小児科	眼	性感染症	基幹	疑似症
19	12	3	4	—	35

b 定点把握対象疾患

表 2 - (5) - イ - (ア) - b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾 患 名		平成 29 年	平成 30 年	令和元年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,108	6,013	6,357
2	RS ウイルス感染症	366	413	375
3	咽頭結膜熱	469	293	150
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	779	1,186	1,447
5	感染性胃腸炎	2,890	2,586	2,175
6	水痘	285	223	212
7	手足口病	1,005	317	1,281
8	伝染性紅斑	53	126	471
9	突発性発しん	283	244	214
10	ヘルパンギーナ	447	294	341
11	流行性耳下腺炎	121	34	47
12	急性出血性結膜炎	7	10	4
13	流行性角結膜炎	132	103	59
14	性器クラミジア感染症	92	107	125
15	性器ヘルペスウイルス感染症	67	62	66
16	尖圭コンジローマ	20	14	23
17	淋菌感染症	35	38	35
18	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	・	・	・
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	・	・	・
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	・	・	・
21	マイコプラズマ肺炎	・	・	・
22	無菌性髄膜炎	・	・	・
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	・	・	・
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	・	・	・
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	・	・	・

(記載 ・ について：管内に指定の定点医療機関がないため、計上していない)

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数(箇所)	2	—	・	・
検体提供数(件)	13	—	・	・

(6) 指定感染症発生状況

表2-(6) 指定感染症発生状況(発生届受理数)

単位:人

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	新型コロナウイルス感染症	36	市川市 浦安市 管外

(7) その他

表2-(7) インフルエンザ様疾患届出状況

(単位:件)

年度 区分	届出 施設数	届出 患者数	措 置			
			学級 閉鎖数	学年 閉鎖数	休校数	その他
平成29年度	314	3,760	306	7	1	-
平成30年度	218	3,270	202	16	-	-
令和元年度	80	2,465	209	16	13	-
幼稚園	18	332	33	0	-	-
小学校	46	1,800	157	10	8	-
中学校	15	333	19	5	5	-
高等学校	1	-	-	1	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和元年度		-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況(結核は除く)

年度	病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和元年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況
(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成29年度	24	31	-	-	-	-	24	31	-	-	-	-	1
平成30年度	18	29	-	-	2	3	16	26	-	-	-	-	3
令和元年度	11	79	-	-	-	-	11	79	-	-	-	-	5

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症患者健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
令和元年度	E型肝炎	5
	A型肝炎	3
	チクングニア熱	1
	デング熱・デング熱疑い	9
	ジカ熱疑い	1
	日本紅斑熱	1
	レジオネラ症	11
	レプトスピラ症	1
	つつが虫	1

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症患者健康調査状況 (単位：調査(人)、件数(件))

区分	疾患名	調査
令和元年度	感染性胃腸炎	377 (12)
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレーの熱を除く)	5(5)
	風しん・風しん疑い	29・187(28)
	麻しん・麻しん疑い	4・884(55)
	インフルエンザ	211 (55)

カ 指定感染症

表 2 - (8) - カ 指定感染症健康調査及び検査実施状況

年度 \ 病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和元年度	新型コロナウイルス感染症	36	36

(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2 - (9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

(単位:調査(人))

年度 \ 区分	総数	管外での感染症発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	検疫通報に伴う接触者及び同行者調査数	検便実施者数(件)	検出菌(件)			
					コレラ	赤痢	O157	その他
平成 29 年度	15	15	-	3	-	-	1	-
平成 30 年度	43	1211	-	10	-	-	-	-
令和元年度	159	159	-	46	-	-	-	5

(1 0) 衛生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数

表 2 - (1 0) 衛生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数

(単位:件)

区分	疾患名	結果		計
		陽性	陰性	
令和元年度	麻しん	3	52	55
	風しん	13	18	31
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	3	6
	急性脳炎	3	2	5
	レジオネラ症	3	0	3
	蚊媒介感染症(デング熱・チクングニア熱)熱)	3	0	3
	レプトスピラ症	1	0	1
	日本紅斑熱	1	0	1
	新型コロナウイルス感染症	60	451	511

(11) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2－(11) 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾患名		計
	腸管出血性大腸菌感染症	新型コロナウイルス感染症	
平成29年度	23	—	23
平成30年度	21	—	21
令和元年度	11	36	47

表2－(11)－イ 入院勧告通知数

(単位：件)

区分 年度	疾患名	計
	新型コロナウイルス感染症	
平成29年度	—	—
平成30年度	—	—
令和元年度	36	36

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会

表2-(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参 加 人 数 (人)
4月3日	市川教育 会館	「風しん・麻しんから子供達を守ろう！」 市川保健所 疾病対策課 副主幹 山本裕香	市川市教育 委員会 養護教諭	74
5月16日	浦安市 文化会館	「風しん・麻しんから子供達を守ろう！」 市川保健所 疾病対策課 技師 石川拓耶	浦安市教育 委員会 小中学校 長・養護教 諭 認定こども 園職員	52
8月7日	市川 保健所	<u>エボラ出血熱等感染症対策会議</u> 〔内 容〕 ①講義 ②車いす型アイソレーター 操作訓練 (警察車両との移送訓練も実施)	市職員 警察 消防 保健所職員	19
9月12日	市川市 勤労 福祉 センター	<u>麻しん対策シンポジウム</u> 『麻しん対策を考える ～オリンピック・ パラリンピックを見据えて～』 (1)シンポジウム ①麻しん発生の概要 千葉県衛生研究所感染症学 研究室 蜂巢友嗣氏 ②医療機関における対応 順天堂大学附属浦安病院 小児科准教授 新妻隆宏氏 ③松戸市での対応 ・園の立場から さわらびこども園 理事長 和田泰彦氏 ・園医の立場から かおり小児科 院長 村田かおり氏 ④流山市における対応 流山市健康福祉部 健康増進課長 伊原理香氏	管内 医師会 薬剤師会 歯科医師会 看護協会 医療機関 薬局 警察 消防 学校 乳幼児施設 ホテル等宿 泊施設 教育委員会 市職員	89

		<p>討議</p> <p>(2) 教育講演</p> <p>「なぜ 世界は麻しん対策に取り組んでいるのか ～オリンピック・パラリンピックを控えた日本への 影響は～」</p> <p>講師：川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦氏</p>		
9月19日 4	全日警 ホール	<p><u>高齢者施設等における感染症対策研修会</u></p> <p>「管内結核発生状況と高齢者施設で働く皆さんに知 っていただきたいこと」</p> <p>市川保健所 疾病対策課 副主幹 山本裕香</p> <p>講演1</p> <p>「高齢者施設における感染症対策の基本 従事者と してしておくこと やらなければならないこと」</p> <p>講師 千葉県感染制御研究所 代表 柴田 幸治 氏</p> <p>講演2</p> <p>「高齢者施設で知っておきたい感染症」</p> <p>講師 千葉大学医学部附属病院 感染制御部 部長 猪狩 英俊 氏</p>	<p>管内高齢者 施設</p> <p>介護老人保 健施設 特別養護老 人ホーム 有料老人ホ ーム 軽費老人ホ ーム 通所施設</p> <p>ヘルパー ステーション 訪問看護ス テーション 等</p>	77
9月30日	全日警 ホール	<p><u>乳幼児施設等における感染症対策研修会</u></p> <p>講演1</p> <p>「保育所における感染症対策の基礎知識」</p> <p>講師：千葉県感染制御研究所 代表 柴田 幸治 氏</p> <p>講演2</p> <p>「N-NICT(流山市保育所感染制御チーム)の 活動報告」</p> <p>講師：流山市子ども家庭部 保育課 有馬 恵美 氏</p> <p>実 演</p> <p>「スタンダードプリコーションを考慮した 吐物処理方法及び おむつ交換について」</p> <p>講師：N-NICT(流山市保育所感染制御チ ーム) 有馬恵美氏、太田みゆき氏、 佐藤亜希子氏、柴田みづき氏</p>	<p>管内乳幼児 施設</p> <p>市保育課 保育所 幼稚園 小規模保育 事業所 家庭的保育 室 事業所内保 育施設 企業主導型 保育施設 認定こども 園等</p>	128

12月19日	全日警 ホール	<p><u>令和元年度市川健康福祉センター管内新型インフルエンザ等対策地域連携講演会</u></p> <p>情報提供 「市川健康福祉センターにおける感染症発生動向とその対策」 市川保健所疾病対策課 課長 古賀晴美</p> <p>講演 「国内流入が危惧される感染症への対策 麻しんから、新興・再興感染症、新型インフルエンザまで ～東京オリンピック・パラリンピックを控えて～」 講師 国立病院機構 三重病院 臨床研究部 部長 谷口清州氏</p>	管内 医師会 薬剤師会 歯科医師会 看護協会 医療機関 薬局 警察 消防 学校 ホテル等宿 泊施設 教育委員会 市職員	78
--------	------------	--	--	----

イ 市・医療機関、社会福祉施設、学校等への支援状況

(ア) 平成31年度 市川市学校健康診断等説明会

実施日：平成31年4月3日

対象者：市職員／市川市養護教諭 計64名

内容：麻しん・風しんに関する情報提供

(イ) 平成31年度 浦安市学校保健総会

実施日：令和元年5月16日

対象者：市職員／小・中学校長／養護教諭／認定こども園職員 計50名

内容：風しん・麻しんについての流行状況及び浦安市の抗体検査／予防接種制度に関する情報提供

(ウ) 医療法に基づく立ち入り検査を19病院に対し実施し、院内感染対策に関し検査・指導した。また、薬剤耐性菌の発生や院内感染の可能性が疑われる感染症事案についてはその都度病院に確認し、迅速に拡大防止が図れるよう連携・助言した。

(エ) 社会福祉施設における感染症の集団発生時には、発生状況や対応状況を確認し、拡大防止のため指導した。

(オ) 新型コロナウイルス感染症に関しては、感染症指定医療機関や帰国者接触者外来医療機関・協力医療機関、医師会、市、消防等と、随時協議し、対応について確認しながら方針決定していった。

ウ 感染症情報ネットワーク事業

(ア) 市川保健所版感染症情報共有ネットワークシステム

平成 22 年度、管内の医師会・病院・市等関係機関に対し、迅速で正確な感染症情報を提供することにより、各機関と保健所の連携を円滑にし、平常時の感染症予防策を図るとともに発生時の速やかな対策に役立てることを目的に感染症情報共有システムを構築した。毎週感染症の発生状況をメール配信・FAX 併用していた。令和元年度は、対象を歯科医師会・薬剤師会・診療所・歯科診療所・薬局・教育委員会・学校・社会福祉施設・消防・警察にも対象を拡大し、年度末には 302 件の登録となり、内容の充実を図り、「いちうら感染症情報」として原則月 1 回のメール配信をしており、迅速に情報配信を要するものは臨時号として配信した。

(イ) 市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議への参加

管内医療機関が実施している『市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議』（加算 2 の連携会議）に参加し、管内の感染症の発生状況を報告。会議は、薬剤耐性菌の発生及び対応に関する情報の共有を図り、地域における耐性菌対策の向上を図っている。本来、年 2 回の会議開催であるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により第 2 回は中止となった。

(13) 感染症健康危機管理事業

表 2 - (13) - ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数 (人)	主な内容
8 月 7 日	18	<u>エボラ等感染症対策連携会</u> 講義 「管内感染症発生動向とエボラ等輸入感染症発生時の連携について」 市川保健所 所長 坂本 泰啓 実演 『疑似症患者搬送を想定して ～車いす型アイソレーターを用い居室から 搬送車に乗車するまで～』 意見交換会
12 月 19 日	78	<u>令和元年度市川健康福祉センター管内新型インフルエンザ等対策地域連携講演会</u> 情報提供 「市川健康福祉センターにおける感染症発生動向とその対策」 市川保健所疾病対策課 課長 古賀晴美

		<p>講演</p> <p>「国内流入が危惧される感染症への対策 麻しんから、新興・再興感染症、新型インフルエンザまで ～東京オリンピック・パラリンピックを控えて～」</p> <p>講師 国立病院機構 三重病院 臨床研究部 部長 谷口清州氏</p>
1月29日	59	<p><u>新型コロナウイルス対応連携強化のための説明会</u></p> <p>① 新型コロナウイルスについての管内の対応 市川保健所 所長 坂本 泰啓</p> <p>② 対応事例報告 東京ベイ浦安市川医療センター 感染症内科医長 兼感染対策室長 織田錬太郎氏</p> <p>③ 質疑応答</p>
2月28日	20	<p><u>新型インフルエンザ等医療専門委員会</u></p> <p>(1) 情報提供 「新型コロナウイルス感染症（COVID-10）をめぐる市川健康福祉センターの対応」</p> <p>(2) 新型インフルエンザ医療体制</p> <p>① これまで整備を進めてきた新型インフルエンザ医療体制 ② これからの新型インフルエンザ医療体制</p> <p>(3) 情報交換</p> <p>① 帰国者接触者外来, 入院協力医療機関の立場から ② 医師会の立場から ③ 保健所の立場から</p>
3月27日	12	<p><u>新型コロナウイルス感染症医療連絡会議</u></p> <p>① 保健所からの現状報告</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症・対応医療機関からの現状の報告 「外来・入院対応状況」及び「苦慮している点」等について共有</p> <p>③ 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰国者・接触者外来の機能分化について ・ 保健所からの情報発信について ・ 地域医療との連携・統合について

表 2 - (1 3) - イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数 (人)	主な内容
4月25日 26日	41	個人防護具着脱訓練(所内+警察・消防) ①講義 ②個人防護着脱訓練(N95フィットテスト含む)
8月6日	15	所内 搬送訓練
9月30日	14	エボラ出血熱等感染症対策会議 (消防・警察・市・保健所) 講義 車いす型アイソレーター操作訓練 (警察車両との移送訓練も実施)

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加 人数 (人)
H30.7.25	市川教育 委員会	青少年に対する エイズ等性感染 症対策講習会	エイズ・性感 染症の動向、 青少年に対 するエイズ・ 性感染症の 予防に向け た取り組み ～流山市に おける教材 作成等検討 委員会の活 動について ～	市川市養護教 諭・教育委員 会関係者	73

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
R1.11.29	JR 総武線本八幡駅、東京メトロ東西線行徳駅、 JR 市川駅にて街頭啓発物配付

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成29年度	電話相談		5	3	8	321
	来所相談		205	108	313	
	その他		0	0	0	
平成30年度	電話相談		1	0	1	334
	来所相談		207	126	333	
	その他		0	0	0	
令和元年度	電話相談		4	0	4	177
	来所相談		120	53	173	
	その他		0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	男	女	合計	外国籍者数(再)	確認検査件数
平成29年度		231	108	339	4	1
平成30年度		207	126	333	9	1
令和元年度		120	53	173	5	0
年齢階級	～19歳	2	4	6	1	0
	20歳～29歳	27	26	53	2	0
	30歳～39歳	26	16	42	2	0
	40歳～49歳	41	6	47	0	0
	50歳～59歳	15	1	16	0	0
	60歳～	9	0	9	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3－(3)－イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

年度	検査 性別	クラミジア検査			梅毒検査			肝炎検査					
		計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査		
								計	男	女	計	男	女
平成29年度		319	222	97	329	224	105	338	226	112	335	224	111
平成30年度		314	200	114	335	206	129	346	210	136	347	211	136
令和元年度		163	115	48	169	117	52	171	118	53	171	118	53

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4－(1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成29年度		243(4)	-	1	2	9	233(8)
平成30年度		233(8)	1	2	3	8	225(7)
令和元年度		225(7)	-	2	5	9	213(7)
市川市		140(4)	-	2	1	6	135(5)
浦安市		85(3)	-	0	4	3	78(2)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4－(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成29年度	保健所	前期	239	22	9.2	20
		後期	231	23	10.0	22
	委託医療機関		217	20	-	6
平成30年度	保健所	前期	222	23	10.4	21
		後期	224	23	10.3	23
	委託医療機関		538	10	-	7
令和元年度	保健所	前期	223	21	9.4	2
		後期	223	21	9.4	0
	委託医療機関		-	25	-	0

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	188	195	171
医療特別手当	14	19	15
特別手当	1	1	1
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	149	150	137
保健手当	16	17	11
介護手当	1	1	1
葬 祭 料	7	7	6
健康手当	164	168	153

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。